

### 歳入

- Q 住民税が約1億5,000万円増となっているが主な要因は。**  
**A** 課税標準額が1億円以上の高額納税者が3年度2名だったが、4年度は7名に、5,000万円以上1億円未満も3年度8名から16名になった。
- Q 資源物回収売代が1,900万円増となっているが。**  
**A** 紙、布、ペットボトルの単価が上がったため。

### 福祉・健康

- Q みずほ健康ポイント「あるってこ」の実績と分析は。**  
**A** 4年度末時点で592人が登録した。登録者のうち年代別では約6割が18歳から50代まで。アンケート調査では、約7割の方が歩くことを意識するようになったと回答した。
- Q 長期総合計画では高齢者の居場所づくりとして令和7年度の目標が50か所になっているが4年度の実績は。**  
**A** サロンも含め4年度の時点では全部で18か所である。居場所づくり事業については3か所増えた。



居場所づくり事業で行われた介護予防健康体操

### 交通

- Q コミュニティバスとは別の交通手段として、デマンドタクシーについての調査は行われたか。**  
**A** 地域公共交通会議や住民アンケートでもデマンド系への変更を望む声が届いており調査を進めた。現在、町の地域公共交通として運用できるのか検討している。

事  
討  
項  
議

討議対象となった施策  
(P8・P9 参照)

### 産業

- Q キャッシュレス決済ポイント還元事業の成果は。**  
**A** 年末の1か月間で町内162店舗、決済件数は約3万2,000回となり、金額で約1億4,000万円が使われた。前年の決済額より大幅に増えた。

### 教育

- Q 学びのテーマパークの人材の状況と確保にどのような取り組んだか。**  
**A** 第二中学校では地域コーディネーターの不在は解消できなかったが、5年度に地域の方に後任をお願いできた。また、協働推進課にも相談を始めた。今後も人材探しに当たっていく。
- Q 学びのテーマパークの成果は。**  
**A** 特に小学校ではノートまとめコンクールにタブレットを活用したところ、タブレットへの入力スピード、プレゼンテーションソフトのスキルが高まった。
- Q スクールソーシャルワーカーの活動実績と成果は。**  
**A** 瑞穂中学校は4月から7月まで週2～3回程度、第二中学校については年間を通して週4回である。これまで学校が連絡を取るのが難しいご家庭がかなりあったが、保護者、児童・生徒の状況を聞き取り関係機関につなぐことができた。

- Q GIGAスクールの成果と課題は。**  
**A** 学習ソフトの活用や外部との交流などさまざまな場面で活用した。教員間で活用の頻度に差があることや児童・生徒が自ら主体的に活用する場面を増やすなどの授業改善が課題である。



視察先で行われていたタブレットを活用した授業風景

### 生活・環境

- Q 公園管理委託料が3年度決算額より475万円増額となっているが理由は。**  
**A** 公園緑地などでのナラ枯れの影響によりコナラ、カシなどを伐採する必要が生じたため。
- Q 公園費の修繕料が200万円増額となっているが内容は。**  
**A** 主なものは松原中央公園の木柵の修繕である。なお、松原東公園のブランコは点検により緊急修繕を行った。



松原中央公園の木柵

### 安全・安心

- Q 交通安全施設等設置工事費が当初予算に対して減額されているが、予定されていた事業はすべて執行されたか。**  
**A** 車道と歩道を分ける区画線、反射鏡、滑り止め舗装、道路照明灯のLED化など予定通り実施できた。減額の主な理由は滑り止め舗装が予定より短くできたことやLED照明の器具の減や契約差金などである。
- Q 防災行政無線デジタル化整備工事が4年度に完成したが成果は。**  
**A** 一度の操作で放送、メール配信、HPなどの連動した対応が可能になった。聞こえづらいところは依然としてあるので、個別対応、電話など複数の手段で案内している。

今回の議会には、令和4年度の一般会計・特別会計・下水道事業会計の決算認定議案が町から上程されました。決算特別委員会での審査後、本会議においてすべての会計を全会一致で認定しました。



### 決算特別委員会で審査

議案が上程された後、議会では、決算特別委員会を設置し、委員長に古宮郁夫議員、副委員長に原隆夫議員を選出。議長、議会選出監査委員を除く、13名により、2日間にわたり町側へ質疑し、3日目に議員間討議を行いました。

### 行政改革

- Q 農地地図システム導入の成果は。**  
**A** 地図を見るだけで畑の所有者、面積などが一瞬で確認できるようになった。これにより他の課に問い合わせる必要がなくなり、1件当たり20分程度短縮できることで人件費の削減につながった。
- Q DXやAIの活用による行政事務効率化への検討はなされたか。**  
**A** AI議事録について無料トライアルを行った。効果が確認できたので5年度予算に反映した。

※決算書の詳細は  
HPでご覧になれます。

